

笑顔輝く せたっこ通信



令和8年7月
大津市立瀬田幼稚園



七夕によせて

子ども達は七夕飾りをつくって飾ったり願い事をかく短冊をつくったりしながら、七夕という行事を知っていきました。また、地域のシニアクラブの方との「ひだまり交流」では、一緒に長い長い飾りをつくったり細かい切り込みの入った飾りをつくってもらったり笹に飾り付けてもらったりしながら、親しみをもって関わっていました。ひだまり交流では5歳児が七夕の歌を披露しました。



そして、七夕の日には織姫や彦星になった劇を通して子どもたちに七夕の話をします。今年は小学校から彦星がやって来ました。…実は小学校の初任者研修で幼稚園実習が位置付けられており、この日は5年生担任の岡本先生が、あお組の先生でした。

劇をするのは初めてという岡本先生でしたが、「たくさん練習をしてきました！」と彦星になりきっておられ子ども達も真剣な眼差しでお話を聞いていました。

離れ離れになってしまった織姫と彦星がまた会えるようになり、よかったね。みんなの願いが叶いますように。



小学校の先生とプール遊び

岡本先生ともバタ足競争をして一緒にプール遊びをしました。3年生担任の京谷先生も幼稚園実習に来られました。京谷先生はバタ足をしてボールを相手チームにたくさん移動させるゲームをしてくださいました。最初はバタ足をすると水が顔にかかるのが気になっていたのですが、一生懸命バタ足をして波をつくらないとボールが動かないので、いつの間にか大きな波ができるくらいのバタ足ができるようになっていました。今年の夏はたくさんプール遊びを楽しむことができました。



幼稚園と小学校の交流 その5 （1年3組の『おおきな かぶ』）

国語の勉強をしている1年生から『おおきな かぶ』の音読劇に招待をしてもらいました。当日はあいにくの雨でしたが、子ども達は傘をさして上靴を持って小学校へ向かいました。



初めて小学校に行く人もいて、ちょっとドキドキしていましたが、傘を巻いて片付けたり立って上靴に履き替えたり、幼稚園と違う場所でも頑張っていました。雨の日の経験も大事ですね。



1年生の音読劇は、教科書を見ずにナレーションや台詞を覚えていて、みんなで合わせて台詞を言ったりおじいさんや犬の役になりきっていたりして、とても上手でした。

憧れの気持ちをもったり「1年生になったら…」と思っていたことでしょう。子ども達が安心して1年生になることを願った交流です。



女性会と交流

瀬田学区では毎年夏休みになってすぐに盆踊り大会があります。瀬田幼稚園に赴任し、初めて参加させていただいた時に子どもの頃に行った夏祭りを思い出しました。江州音頭は大人の方が踊っているのを見様見真似で踊り、いつの間にか踊れるようになっていった記憶があります。何十年ぶりに踊りましたが、踊り出すと思い出したかのように体が動き出しました。そんな体験を子ども達にもしてもらいたいと女性会の水橋会長と話をしていたら、幼稚園で江州音頭を教えてあげるよ。とおしゃってくださいました。

江州音頭は江戸時代に豊郷町が発祥の地とされていて、お経を唱えていたお坊さんがみんなで踊れる踊りがあるといいなと考えたのがはじまりというお話も聞かせていただきました。

子ども達はすぐに覚えて踊ることができました。ぜひ7月25日（土）御霊神社で行われる盆踊り大会にご家族で足を運んでみてくださいね。みんなで江州音頭を踊りましょう！

この通信は天津市のホームページからも見て頂くことができます。
ホームページには瀬田小学校の児童に向けた通信も載せていますので、是非見てくださいね。

